

CAP 講座を開催します！

子どもが被害者となる事件が相次ぐ中、子どもたちを暴力や危険から守るために何をどう教えるか。『知らない人についていくな』『いじめはやめよう』などとよく言われますが、実際にどのように対処すればよいのでしょうか。

CAP の子どもワークショップでは「いじめ」「誘拐」「性暴力」などの場面を想定したロールプレイを通して、子どもたちはどんな対処できるのか、具体的な方法を子どもたちも一緒に参加しながら考え、「自分を守る力」を身につけてもらいます。おとなワークショップは、子どもをどのように援助するのかを学びます。

子どもワークショップは在園年長児対象となっていますが、おとなワークショップは在園保護者、卒園児とその保護者、一般の方等たくさんのご参加をお待ちしています。まずは、私たちおとなが体感してみませんか。

日 時：2019年11月22日(金) 17:30~19:30 (受付開始17:15より)

場 所：木のいえ共同保育園

参加費：一般の方 500円

※おひさま会員又はみんなの会の会費を納入されている方は無料です。

その他：駐車場に限りがありますのでお車でお越しの方は、申込の際にその旨をお伝えください。

主 催：共同保育を支えるみんなの会・特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

☆子どもの保育はありません。

☆この連続講座のお問い合わせ・お申込みは、下記のメールアドレスにお願いします。

np.o.hisama@gmail.com

件名に『CAP おとな講座申込(問い合わせ)』と記載し、お申し込みの場合は、申込者名、人数、駐車場の要・不要、連絡先を記入してください。

「CAP とくしま」配付資料より抜粋

CAP ってなあに？

Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略で、子どもへの暴力(いじめ・虐待・誘拐・痴漢など)から自分の身と権利を守るための具体的な防止方法を子どもたちに教え、一緒に考えるプログラムです。

従来の「～してはいけません」式の危険防止教育とは異なり、子どもたちが本来持っている内なる力を引き出す(エンパワーする)プログラムです。」

権利とは、「人が人間らしく生きるために欠かせないもの」のことであり、食べることや寝ることと同じように、すべての子どもたちには「安心して(Safe)」「自信をもって(Strong)」「自由に(Free)」生きるという大切な3つの権利があります。

CAP の成り立ち

1978年 アメリカ・オハイオ州コロンバスで起きた、小学校2年生の女兒レイプ事件をきっかけに『レイプ救済センター』のスタッフらによって虐待防止プログラム(CAP)がつけられました。

CAP とくしま

1998年 8月 発足

1999年 12月 CAP スペシャリスト養成講座 開催
発足から現在にいたるまで、徳島県下の小学校、保育所、公民館などで、講演やワークショップなど数多く開催。

わたしたちは、保育所・幼稚園・小学校・中学校等・童保育などでCAP子どもワークショップを行っています。(事前にCAPおとなワークショップの開催が必要となります)

CAP子どもワークショップ

みんな！ 「けんり」って知ってる？
子どもには3つの特別な権利があるんだよ。
①安心する権利(どんなときに安心するかな?)
②自信をもつ権利(どんなときに自信がもてるかな?)
③自由に生きる権利(どんなときに自由だなんて感じるかな?)

【4種類のロールプレイ】
*いじめ
*知らない人
*知っているおとな
*信頼できるおとなに相談する

この4つのロールプレイ(守則)を通して、子どもたちと一緒に話し合いながら、どうしたらいいか、自分たちに何ができるかを考えていきます。

3つの権利がうばわれそうになったときには・・・
*『いやだ』と言う
はっきりと『いやだ』と言っていいんだよ。
*にげる
早くその場から離れる。「特別な呼び声」も忘れずに。
*相談する
「いやだ」って言えなくても、にげられなくても、後で必ず誰かに相談しよう。

CAPからの
おすすめ
BOOK

『ノー』をいえるこどもに
子どもの虐待
こどもと暴力
あなたが守るあなたの心あなたのからだ
ライオンさんにはなそう
わたしのからだよ！

(訳：砂川真澄 童話館出版)
(著：森田ゆり 岩波書店)
(著：森田ゆり 岩波書店)
(著：森田ゆり 童話館出版)
(作：パトリシア・キーホー ビデオドッグ)
(作：ロリー・フリーマン ビデオドッグ)